

発行所
北海道高等学校
バレーボール専門部
発行責任者 丸山 道博
編集責任者 石崎 賢
平成27年3月7日発行

平成26年度 第67回 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会

期日：平成26年6月10日（火）～13日（金） 当番校：北海道釧路明輝高等学校
会場：湿原の風アリーナ釧路、北海道釧路湖陵高等学校体育館

男子 優勝 東海大四
準優勝 とわの森
3位 尚志学園
4位 札幌藻岩

【優秀選手賞】

柳 町 逸 太	3年	東海大四
藤 村 翔 也	3年	東海大四
小 山 敦 己	3年	東海大四
戸 田 拓 也	3年	東海大四
大 竹 優 稀	3年	東海大四
古 川 慎	2年	東海大四
外 崎 航 平	2年	東海大四
安 部 太 一	3年	とわの森
田 城 広 光	3年	とわの森
長谷川 康 平	3年	とわの森
小 野 智 昭	3年	とわの森
岩 大 貴	3年	尚志学園
前 田 啓 太	3年	尚志学園
河 西 孔 明	3年	札幌藻岩

【優勝監督賞】

松 田 修 一

男子優勝：東海大四高校



女子優勝：札幌山の手高校



開会式 選手宣誓



女子 優勝 札幌の手
準優勝 旭川実業
3位 帯広南商
4位 江 陵

【優秀選手賞】

橘 井 友 香	3年	札幌の手
佐々木 里 歩	3年	札幌の手
真 田 知 紗 都	3年	札幌の手
舂 田 紗 淑	2年	札幌の手
道 下 ひ なの	2年	札幌の手
島 原 玖 南	2年	札幌の手
塩 出 朋 佳	2年	札幌の手
廣 瀬 七 海	2年	旭川実業
佐々木 樹	2年	旭川実業
内 野 咲 季	2年	旭川実業
栗 林 莉 乃	2年	旭川実業
松 田 華 奈	3年	帯広南商
内 海 里 香	3年	帯広南商
清 水 佳 代	3年	江 陵

【優勝監督賞】

渡 邊 徹

【ベスト8】 釧路工業、岩内、白樺学園、北海

【ベスト16】 函ラ・サール、岩緑陵、紋別、函館工業
旭川実業、遠軽

【予選グループ】

伊達緑丘、釧路明輝、静内、旭川凌雲
稚内

【ベスト8】 札幌北斗、旭川大高、札幌大谷、恵庭南

【ベスト16】 函館西、岩見沢西、虻田、釧路湖陵、
双葉、北見柏陽、東海大四、中標津

【決勝トーナメント1回戦】

札幌国際情報、北見北斗

【予選グループ】

函館大妻、天塩、釧路明輝、苫小牧中央
稚内大谷、深川西、室蘭東翔



全道大会当番校の釧路明輝高校の皆さん、大会役員、そして応援してくださった皆様ありがとうございました。

◆過去一年間の大会結果◆

◇平成26年度選手権大会（春高バレー） 開催地：札幌市

期日：平成26年11月18日（火）～21日（金） 会場：北海道立総合体育センター（北海きたえーる）

《男子》

- 【優勝】東海大四
- 【準優勝】尚志学園
- 【ベスト4】札幌藻岩、とわの森
- 【ベスト8】白樺学園、釧路工業、恵庭南、帯広三条
- 【ベスト16】江別、恵庭北、北海、旭川実業
別海、札幌工業、啓北商業、札幌西陵
- 【2回戦】伊達伊緑、札幌東陵、札幌清田、倶知安
有斗稜北、北見緑陵、岩緑陵、斜里
滝川西、深川西、天塩、札幌西、
紋別、浦河、函館工業、旭川北
- 【1回戦】苫高専、小樽潮陵、富良野、室蘭栄、
釧路江南



《女子》

- 【優勝】札山の手
- 【準優勝】旭川実業
- 【ベスト4】江陵、札幌大谷
- 【ベスト8】旭川商業、旭川大高、帯広南商、東海大四
- 【ベスト16】北見柏陽、釧路湖陵、恵庭南、市立函館
静内、岩見沢西、白樺学園、室蘭東翔
- 【2回戦】中標津、双葉、帯広大谷、虻田、札幌北斗
雄佐合同、国際情報、深川西、遺愛女子、
稚内大谷、旭川龍谷、苫中央、滝川西、函館西
帯広農業、
- 【1回戦】とわの森、えりも、七飯、札幌旭丘、岩内
網走南丘、大麻野幌、札幌白石、土別翔雲
北海道栄、稚内、釧路商業、別海、倶知安
北見緑陵、美唄聖華、小樽商業、啓北商業
遠軽、芦別、千歳、長沼、富良野、札幌藻岩
留萌



◇平成26年度新人大会 開催地：苫小牧市

期日：平成27年2月5日（木）～7日（土） 会場：苫小牧市総合体育館・苫小牧南高校・苫小牧工業高校

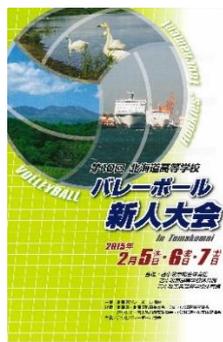
《男子》

- 【優勝】とわの森
- 【準優勝】帯広三条
- 【3位】東海大四 【4位】札幌西陵
- 【ベスト8】釧路工業、啓北商業、旭川実業、尚志学園
- 【ベスト16】旭川北、富良野、遠軽、倶知安
札幌藻岩、江別、札幌東陵、天塩
- 【1回戦】静内、函館工業、北見緑陵、苫小牧工業
小樽潮陵、深川西、北海、函ラ・サール
恵庭南、苫小牧高専、滝川西、根室
斜里網南、岩見沢緑陵、室工東翔



《女子》

- 【優勝】札山の手
- 【準優勝】旭川実業
- 【3位】札幌大谷 【4位】江陵
- 【ベスト8】旭川大高、旭川商業、帯広大谷、札幌北斗
- 【ベスト16】富良野、とわの森、中標津、室蘭東翔
函館西、双葉、白樺学園、札国際情報
- 【2回戦】深川西、美唄聖華、遺愛女子、湧別、倶知安
市立函館、網走南丘、静内、苫小牧中央、
恵庭南、札幌白石、芦別、留萌、北見柏陽
土別翔雲、岩見沢西
- 【1回戦】苫小牧東、啓北商業、東海大四、釧路湖陵
稚内大谷、滝川



■全国大会の結果■

◆ 平成26年度 高校総体（煌めく青春 南関東総体2014）

【男子】 東海大四決勝トーナメント4回戦進出

予選グループ戦

県岐阜商（岐阜）2（25-16、25-23）0東海大四
福井工大福井（福井）2（25-15、25-19）0とわの森三愛

敗者復活戦

東海大四2（25-18、25-19）0高岡第一（富山）
とわの森三愛2（27-25、23-25、25-20）1伊奈学園総合（埼玉）

決勝トーナメント1回戦

東海大四2（19-25、25-15、25-22）1鎮西（熊本）

決勝トーナメント2回戦

市尼崎（兵庫）2（25-20、30-28）0とわの森三愛
東海大四2（25-20、25-20）0日大山形（山形）

決勝トーナメント3回戦

東海大四2（25-10、25-20）0雄物川（秋田）

決勝トーナメント4回戦

鹿児島商（鹿児島）2（25-11、25-21）0東海大四



高体連釧路大会プログラム



君の汗輝一滴勝利の栄

【女子】 札幌山の手、旭川実業ともに決勝トーナメント3回戦進出

予選グループ戦

敬愛学園（千葉）2（23-25、25-15、25-17）1札幌山の手
旭川実業2（25-11、25-21）0豊橋中央（愛知）

敗者復活戦

札幌山の手2（25-23、25-21）0城南（徳島）

決勝トーナメント2回戦

札幌山の手2（25-27、25-23、25-23）1高知中央（高知）
旭川実業2（23-25、25-21、25-18）1西邑楽（群馬）

決勝トーナメント3回戦

京都橘（京都）2（25-20、25-20）0札幌山の手
鹿児島女（鹿児島）2（25-13、25-13）0旭川実業



◆ スポーツ祭（長崎がんばらば国体）

【少年男子】2回戦 石川選抜（石川）2（25-21、22-25、25-18）1北海道選抜

【少年女子】1回戦 北海道選抜2（25-23、25-20）0静岡選抜（静岡）

2回戦 宮城（古川学園高）2（25-19）、25-13）0北海道選抜



◆ 平成26年度 第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）

【男子】 1回戦 東海大四 0（20-25 / 17-25） 2 創造学園（長野）

1回戦 尚志学園 0（21-25 / 18-25） 2 別府鶴見丘（大分）

【女子】 1回戦 旭川実業 0（14-25 / 23-25） 2 春日部共栄（埼玉）

1回戦 札山の手 2（26-24 / 25-19） 0 安来（島根）

2回戦 札山の手 0（15-25 / 10-25） 2 京都橘（京都）



平成26年度 国民体育大会 バレーボール少年 北海道選抜チーム

【少年男子】										【少年女子】									
監督 コマサポ-ト チネサポ-ト マサポ-ト	松山藤家奥山	田田盛近山田	修卓竜昭和	一哉太彦諭弘	東札江札札と	海幌幌わ	大西幌新の	四陵別北川森	監 コマサポ-ト チネサポ-ト マサポ-ト	渡小奥富岡佐	邊澤山田本藤	徹敦諭治子幸	札岩札帯旭国	山見幌広川際	の沢新南実情	手西川商業報			
No.	氏名	学校名	身長	学年	No.	氏名	学校名	身長	学年										
1	柳町逸太	東海大	184	3	1	塩出朋佳	山札山	166	2										
2	河田西拓	東海大	183	3	2	嶋山井初	山札山	163	2										
3	田城孔	東海大	188	3	3	永橋風	山札山	167	3										
4	田安城	東海大	191	3	④	嶋井友香	山札山	174	3										
5	杉部太	東海大	180	3	5	永橋道	山札山	174	2										
6	杉部本	東海大	182	3	6	嶋井下	山札山	168	2										
7	小安部	東海大	183	3	7	嶋井原	山札山	176	2										
8	小古川	東海大	180	2	8	眞田知	山札山	175	3										
9	大竹川	東海大	179	3	9	佐々木	山札山	175	3										
10	長谷川	東海大	170	3	10	廣瀬	山札山	177	2										
11	外崎村	東海大	170	2	11	松田	山札山	175	3										
12	藤村	東海大	183	3	12	白幡	山札山	169	3										

平成26年度 高等学校9ブロック長身者発掘育成合宿北海道ブロック合宿 指名選手

No.	氏名	学年	身長	学校名	No.	氏名	学年	身長	学校名
1	工藤神夢	1	190.1	室蘭清丘	1	持川渚	2	178.0	苫中央
2	土田拓人	2	188.0	東海大四	2	水澤夢	1	178.5	江陵
3	福島功太	2	188.2	北見工業	3	廣瀬七海	2	177.0	旭川実業
4	城野翔平	1	188.0	とわの森	4	矢吹美緒	2	177.0	札幌幌南
5	小泉響輝	1	188.0	札幌北商	5	舛田紗淑	2	176.0	札幌の手
6	寺内峻	2	187.0	天塩	6	続麻知子	2	176.0	札幌幌西
7	木村郁夫	1	187.0	琴似工業	7	田内セリナ	1	176.0	双葉
8	工藤将城	1	187.0	旭川実業	8	柴田広瀬	1	175.0	釧路湖陵
9	山口遼太郎	1	186.0	札幌啓成	9	道下ひなの	2	174.5	札幌の手
10	原浩次郎	1	186.0	釧路明輝	10	齊藤万衣	2	175.0	旭川実業
11	菅谷拓人	1	186.0	旭川工業	11	西川遙	2	175.0	旭川実業
12	田尻宗準	2	184.4	札幌藻岩	12	多田彩乃	1	174.6	札幌北斗
13	丹崎峻輔	2	185.0	札幌北陵	13	山本萌々果	1	175.0	札幌の手
14	藤井幸貴	2	185.0	札幌工業	14	平船瑞	1	174.0	旭川商業
15	佐藤裕太郎	2	184.5	滝川西	15	村野美波	1	174.0	札幌藻岩
16	才野元也	2	185.0	帯広三条	16	工藤杏佳	1	174.0	小樽商業
17	谷越陽介	1	185.0	とわの森	17	古田七海	2	173.0	双葉
18	正保慧多	1	185.0	東海大四	18	名平悠花	2	173.0	札幌北斗
19	富山拓哉	1	185.0	札幌白石	19	遊佐七海	2	173.0	国際情報
20	佐藤祐希	1	185.0	天塩	20	今野空	2	173.0	旭大高
21	久保創太郎	2	184.1	北広島	21	石原清乃	1	173.0	帯広南商
22	篠本文偉	2	184.0	釧路工業	22	今野未菜	2	172.0	恵庭南
23	田中涼介	1	183.0	札幌藻岩	23	海原朋実	2	171.0	札幌白石
24	飯嶋直樹	1	184.0	札幌北陵	24	安達萌香	2	172.0	札幌東商
25	小塚勇也	2	183.0	尚志学園	25	西崎恵	2	172.0	中標津
26	佐藤史都	2	182.0	東海大四	26	大江うらら	1	172.0	中標津
27	野崎史平	2	183.0	旭川凌雲	27	黒田沙耶	1	171.6	江陵
28	三浦峻	2	184.0	札幌開成	28	島原玖南	2	170.0	札幌の手
29	佐藤陸善	2	176.3	白樺学園	29	坂下瑞季	2	164.5	札幌大谷
30	鈴木翔	1	172.0	北海	30	坪田くるみ	2	160.0	岩見沢西
31	澤下寛人	2	170.0	尚志学園	31	寒川水月	1	158.2	札幌東商
32	島田大聖	1	173.0	とわの森					

北から 南から

北・・・稚内高等学校バレーボール部

男子・・・部員不足の中基礎練習を大切に 女子・・・攻めと粘りのバレーを

男子バレーボール部は、現在2年生1名とマネージャー2名で活動しています。平日の月・水曜、休日には土・日・祝とそれぞれ3時間の体育館での練習をしています。人数の制約上できることが少ないながらも、基礎練習を毎回大事にしながら練習しています。マネージャーや3年生、休日にはOBも練習に参加するなど、周りの多くの人の協力により練習が成り立っています。少ない練習の機会を充実したものにすることも、基礎練習とともに自ら課題を見つけて改善するため日々考えながら取り組んでいます。平成26年度は高体連全道大会に出場しました。今後は合同チームや来年度を見据えて基礎技術の向上に努めていきます。

女子バレーボール部は、現在、2年生選手5名、マネージャー1名の計6名の部員で活動しています。平日の練習時間は平均2時間半～3時間です。決して長くはない時間ですが、短いからこそ効率よく成果を出せるよう、練習を工夫しています。また、授業に集中すること、少しの時間を効率的に使うことを学業でも意識し、何事にも妥協せず取り組む姿勢を大切にしています。チームで目標としているのは「攻めと粘りのバレー」です。小柄な選手が多いため、レシーブ、繋ぎで負けない守備力を目指しています。練習では基礎練習や体カトレーニングに特に重点を置いています。平成26年度の選手権大会では3年ぶりに全道大会出場を果たすことができ、部員のほとんどが、はじめての全道大会というなかで、大変貴重な経験することができました。3年生の引退後は選手が5名となってしまいましたが、人数が少ないながらも実戦につながる練習になるよう、毎日チーム一丸となって取り組んでいます。

これまでチームを支えてくださった多くの方々、家族、仲間への感謝の気持ちを忘れず、これからも日々努力していきます。



男子顧問 軍司 翔兵
女子顧問 山田 裕美

北から 南から

南・・・七飯高等学校バレーボール

感謝の気持ちを忘れずに！己に勝つ！

七飯町は、渡島半島の南部に位置し、北海道の表玄関函館市から約16kmの距離にあり、東部には横津岳、北部には駒ヶ岳、大沼国定公園のある町です。また平成28年3月に開業する北海道新幹線の車両基地として北海道と本州をつなぐための重要な施設工事が着工されております。本校は昭和58年に設立され創立32年の普通科3間口の中規模校の学校です。生徒の半数は七飯町以外の周辺5市町からも通学しており、校訓「学 鍛 敬」のもと進路目標に応じた類型選択コースに分かれ3年間を通してキャリア教育を推進しています。部活動の加入率は80%を超えています。学校全体が部活動に集中できる環境を作っており、多くの先生方のご協力、ご理解があります。田舎の普通高校ですが平日は学校で約3時間の練習、休日は練習試合をして、目標に向かって頑張っています。経験のある選手は多くはないので、技術はもちろんのことトレーニングを大事にしてパワーをつけ、気持ちをしっかり持って練習、試合に臨んでいます。練習内容も他のチームと特に変わったことはしていませんが、それぞれの選手がお互いに励まし合い、時にはぶつかり合いながら切磋琢磨して日々の練習を頑張っています。

七飯高校バレー部は、コートの内外の仲間をはじめ、監督・保護者・学校や、その他多くの方々からの支援によって支えられていることを自覚し「感謝の気持ちを忘れずに！己に勝つ！」をモットーに掲げ日々の活動に励み、バレーボールを通して、ひとりの人として大切なものをもった人間として成長することを目標として、指導しています。

今後も「感謝の気持ちを忘れずに！」高校生らしく清々しいプレーを心がけ、観戦している人にも感動を与えられるような、応援されるチームを目指したいと思っております。



顧問 本多 史和

大きな躍動 大きな感動

北海道尚志学園高等学校
男子バレーボール部
顧問 工藤 博己

平成26年11月21日、創部58年目にして、初の春高バレー全国大会の出場権を獲得することが出来ました。監督になってから29年間、これまで、何度か「チャンスがあるチーム」と言われながらも、結果を出せず、苦しい日々が続いておりました。

教え子である多くのOB諸氏の思い、そして、一年一年、選手たちとの諦めない積み重ねの日々があったからこそ、この日を迎えることができたと思います。

バレーボールを通じて、人間力を高めることが真の教育バレーであり、バレーボールの指導者であると同時に一人一人を導く教育者でなければいけないと、若かりし頃、多くの先輩指導者の先生方から学びました。

我が部の部訓は、「一心感謝」「信頼結束」「有終完美」であります。このことは、生涯、人として生きていくにあたり、大切なことであると選手に伝えながら指導にあたっています。また、練習の過程においては、簡単に妥協せず、どのステージでも頑張りきるために毎日の練習や生活がある。そして、自らが創意工夫をして自己を高め、最終的にはチーム力の向上につなげるために、日々練習を積み重ねております。まさしくチャレンジするところからすべてが始まり、失敗した時こそ学ぶことが多くあるのではないかと思います。

今回、皆の思いを背負ってチーム一丸となって、重い扉を開けることができました。

これまで我がチームを応援、支えていただいた皆様と、大会に出場するにあたり、ご尽力頂いた関係各位の皆様感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



初の春高全国大会出場おめでとうございます。

「感謝を込めて」

北海道札幌藻岩高等学校
男子バレーボール部
監督 鈴木 孝明

昭和52年新卒で札幌啓明中学に赴任し8年。その後、元東海大四高校石田先生、元藻岩高校川島先生に藻岩高校男子バレー部の指導をしてみないかというありがたいお話を頂き、昭和60年から30年間という長い間、多くの素晴らしい仲間の指導者の先生方、北海道バレーボール協会の皆様、札幌バレーボール協会の皆様、北海道高体連バレーボール専門部の皆様、高体連札幌支部バレーボール専門部の皆様、バレーボール関係者各位に多大なるご指導、ご支援を頂きましたことを心より感謝申し上げます。またこの間、道高体連バレーボール専門部副委員長（全国高体連強化委員）、道バレーボール協会強化推進本部長・常任理事、札幌バレーボール協会副理事長などバレーボールに関わる様々な仕事を仰せつかり、多くの皆様に支えられ、お力添えを頂き何とか無事にその職責を果たすことができました。誠に有り難うございました。

藻岩高校に赴任の決断をするまでに、実は少し時間をいただいたのを今でも覚えています。まず一つ目は、家庭の事です。「私学の強豪と戦うためには休む時間はない。家庭の仕事をする時間はない」という思いから、小学校の教師をしていた妻に理解をもらい、3月に退職し専業主婦として子育てに専念をしてもらいました。二つ目は、啓明のバレー部の事です。中体連全市3位、新人戦全市準優勝と頑張ってくれた子供達を放り投げて行くわけにはいかないという思いです。私は学校長に教育大学の先輩で何度も全道大会に出場経験のある佐藤 博先生を本校へ呼んで下さるよう直接お願いにあがりました。佐藤先生からも快く返事をいただき安堵したのを思い出します。お陰様で翌年の中体連全道大会へ出場することができ、佐藤先生には感謝の気持ちでいっぱいであります。

藻岩高校では、月曜・火曜・金曜日が5時から7時まで男女で1コート。木曜日は5時から7時まで男女で3コート。水曜日は使用できないという厳しい練習環境で、ネットを使用できるのは男女それぞれ45分という短い時間です。しかし、石田先生から教えていただいた事は、「どんな環境でも工夫しだいで練習はできる。それを考えるのが指導者の仕事だ」の一言でした。それ以来、コートの隙間でどんな練習ができるか考え、試行錯誤を繰り返し続けてきたように思います。

退職を迎える今、素晴らしい選手達との思い出が脳裏を駆けめぐっています。「指導者は、やり直しができるが、選手は一年一年が勝負」だからこそ「厳しいかもしれないが、生徒の持っている能力を最大限まで成長させていきたい」だからこそ「努力を惜しまないで欲しい」という気持ちを念頭に掲げて、生徒達と共に今日まで過ごしてきたように思います。「両親、先生、仲間に愛され信頼される人間を目指す」という部の目標に向かい、強かろう良かろうではなく、いい人の集まりは、いいチームを作り、いいチームは必ず強いチームになると私は信じてやってきました。大会では、私が何も言わなくても開会式や閉会式の準備、片付けを当番校の皆さんや協会の皆さんに感謝の気持ちを持って手伝っている姿を見るたびに、高校生として、男として、人として本当に素晴らしい生徒だと思っています。OB、現役の生徒諸君に心より感謝申し上げます。

最後に私の後継者として本校に赴任していただいた森元 聡先生です。優秀なバレーの指導者は全道に多数おられますが、バレー以前の教科経営、学級経営、生徒指導、進路指導に優れた指導者に来ていただいたという思いで、市立函館より赴任していただきました。お子さんたちの転校、自宅の売却など様々なご苦勞をしていただき、大きな決意を持って赴任してもらいました。今後の藻岩高校男子バレー部のためにご尽力頂くことに、心より感謝申し上げます。

戦績

【全国】

昭和62年	全国高校総体出場（準優勝）	予選 0-2 長崎商業	敗復 0-2 徳島商業
平成22年	全国高校総体出場（準優勝）	予選 0-2 坂戸西	敗復 0-2 不来方
平成23年	全国高校総体出場（優勝）	予選 2-0 城東	決①0-2 佐賀学園

【全道】

高校総体 20回出場（優勝1回・準優勝2回・ベスト4 12回）

国体 6回出場（準優勝1回・ベスト4 6回）

春高 26回出場（準優勝1回・ベスト4 18回）

新人大会 9回出場（準優勝2回・ベスト4 2回）

高体連バレーボール専門部 21年間ありがとうございました。

